令和五年度入学者選抜学力検査問題　国語　正答・正答例及び評価基準

※字数制限のあるものは、句読点、カギ括弧等も一字に数え、字数制限に従って書いているもののみを評価の対象とする。ただし、「正答または正答例」の欄に（例）と示されている小問で、文中、または最後の一マスに文字と句読点が一緒に書かれていて総字数が制限を超えている場合は、句読点の誤りとみなし、小問ごとに全体で一点減点とする。

※漢字の表記については、手書きの楷書と認められる範囲内における形のくずれは問わない。

※「正答または正答例」の欄に（例）と示されている小問の誤字、脱字、句読点や文法上の誤り等については、小問ごとに全体で一点減点とする。それ以外のものについては、問三と問五(1)を除き、誤字、脱字、句読点や文法上の誤り等それぞれ一か所につき一点の減点とする。

問題番号	小問	正答または正答例	配点 小問	配点 計	評価上の留意事項
一	(1)	① ねんえき　② つうしょう　③ よじょう ④ とぼ　⑤ ちんぎん　⑥ にお	各1	34	
	(2) a	ウ	1		
	(2) b	エ	1		
	(3) A	弱さを支え合う	3		
	(3) B	相手に合わせて進化	3		
	(4)	イ、エ	3		(4)は、順序は問わない。
	(5) C	キ	2		
	(5) D	ク	2		
	(5) E	イ	2		
	(6)	イ、ウ	3		(6)は、順序は問わない。
	(7)	（例）自転車には、乗り手を、歩く場合よりも短時間で遠くまで運ぶという機能としての価値がある一方、練習の末に初めて自力で乗ることができたときの喜びを思い出させるという感性的な価値がある。（八十九字）	8		・(7)については、自転車、手袋、絵本のいずれかを例に用い、条件1～3を満たし、適切に説明しているものを正答とする。 ・「〇〇には、～という機能としての価値と、～という感性的な価値がある。」という表現等も正答とする。 ・条件1、3を満たし、次の(a)(b)について、一方のみ満たしているものは四点とする。 (a)「機能としての価値」（そのものがもつ一般的なはたらき）について、適切に説明している。 (b)「感性的な価値」について、条件2を満たし、適切に説明している。
二	(1)	イ	3	18	
	(2)	ア	3		
	(3)	エ	3		
	(4)	（例）キーワードなどをスライドで映し、聞き手の反応をみて、言葉を選んだり、内容を補ったりして話せばいい（四十八字）	6		・(4)については、スライドを使うことと話すことのそれぞれについて書かれており、【スライドを見せるときのポイント】、【話すときのポイント】のそれぞれの中にある言葉を使い、次の(a)～(c)を満たしているものを正答とする。 (a)スライドを使うことについて、「キーワード」と同等の内容が書かれている。 (b)話すことについて、「聞き手の反応をみる」と同等の内容が書かれている。 (c)「言葉を選んだり」もしくは「内容を補ったり」と同等の内容が書かれている。 ・(a)(c)～(c)のうち、二つを満たしているものは四点、一つを満たしているものは二点とする。
	(5)	ウ	3		
三		① 誤参 正散　② 誤高 正航　③ 誤忘 正防	各2	6	誤と正の両方が正しい場合のみ正答とする。
四	(1)	① おもうよう　② なお	各1	19	
	(2)	いみじく誇りける	2		
	(3)	イ	2		
	(4)	ウ、オ	各2		(4)は、順序は問わない。
	(5)	謂「荘子」曰、「子言無」用	3		(5)は、句読点・送り仮名が書かれていても減点の対象とはしない。
	(6) A	（例）役に立たないと思われているもののはたらきによって（二十四字）	4		(6)は、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。
	(7) B	エ	2		
五	(1)	① 腹　② 調子	各2	23	
	(2) あ	ウ	1		
	(2) い	ア	1		
	(3)	イ	3		
	(4)	ア、オ	4		(4)は、順序は問わない。
	(5)	（例）力士に一番近い存在として力士に寄り添おう（二十字）	4		(5)は、「力士と直に接しながら力士を支えよう」等を含め、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。
	(6)	（例）爪を切ることさえせず、職人としての心構えができていなかった自分の未熟さを深く恥じるとともに、常に心構えができている床芝を改めて心から尊敬する気持ち（七十三字）	6		(6)については、 ・条件1、2を満たし、付せん1から「床芝への敬意」、付せん2から「自分への反省」と同等の心情について適切に書かれているものを正答とする。「自分への反省」、「自分への敬意」、「自分への反省」のいずれかが書かれているものから読み取れる心情がそれぞれ書かれているものの中、「床芝への敬意」、「自分への反省」のいずれか一方のみ適切に書かれているものは三点とする。 ・「職人としての心構えができていなかった自分の至らなさを恥じるとともに、常に爪を整えて心構えができている床芝を改めて尊敬する気持ち」のように、床芝の爪について書かれているものも正答とする。 ・爪の誤字やひらがな表記については減点しない。